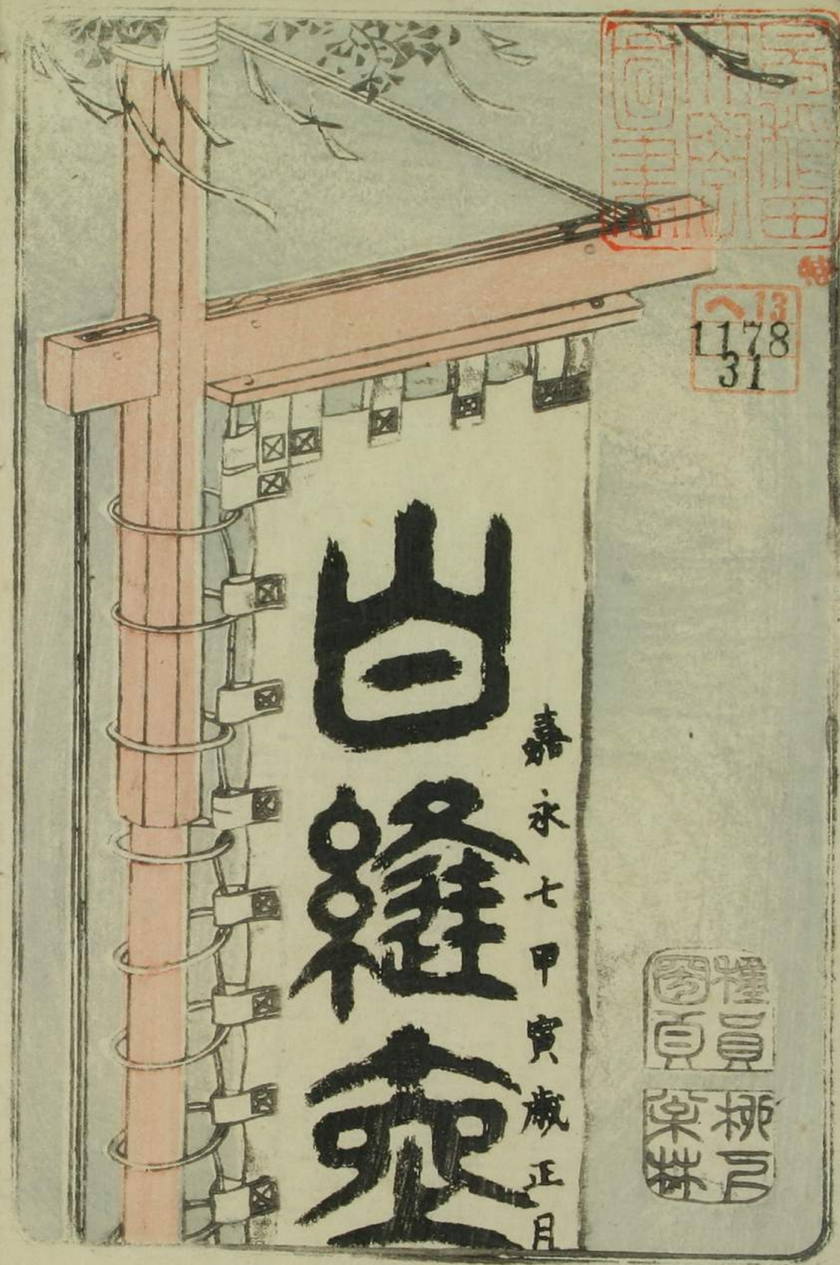
十六編上
十六編下
へ13
1178
31
へ13
1178
32

十六編上
へ13
1178
31



草菴ふ傖父めりて足下が著述る白縫物語ハ
何的書ふ本據ゆと問予答ゝ曰明人逸田叟が
女仙外史ふ見る唐月君の所業を以て我 皇朝の事ふ
模擬ー大友氏の孃子若菜姫といふ名ハ表せども
實ハ是無有の人物然も果敢なき小説野乘筆頭ふ
虛談を法くくし瀉彼不知火の明光ひさうく僕
九州を經歷せざれば地理も境界も無案内の黑夜を歩行る
心地して覽束なくも稿をなすと賓客ふ應る詞を
白地此編の舒ハ換く記せり

嘉永甲寅春月　柳亭種員

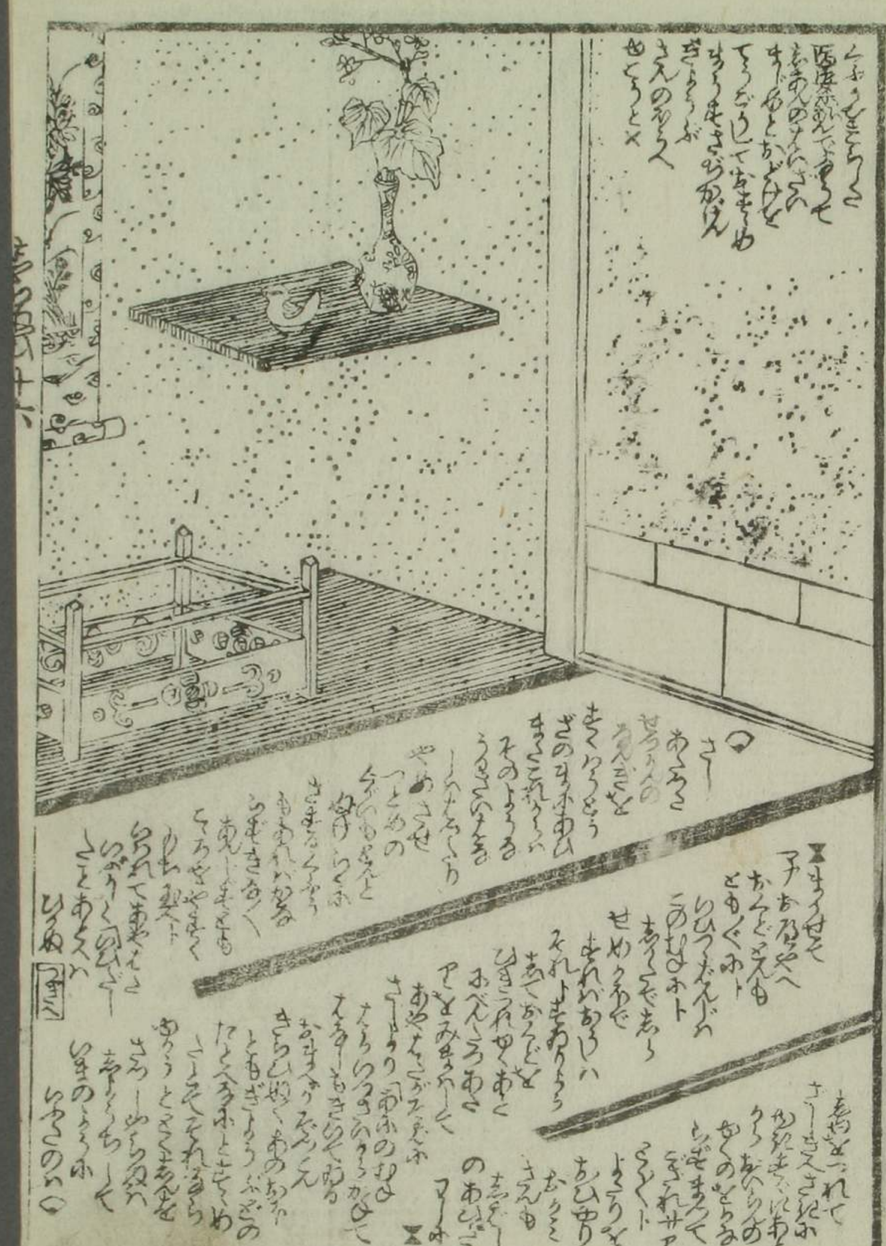
四神之内 後玄武小模
菊地家四大勇士の個
亀谷多門之助光行
四神之内 右白虎小模
菊地家四大勇士の個
帛石八郎 武門
中之巻 終

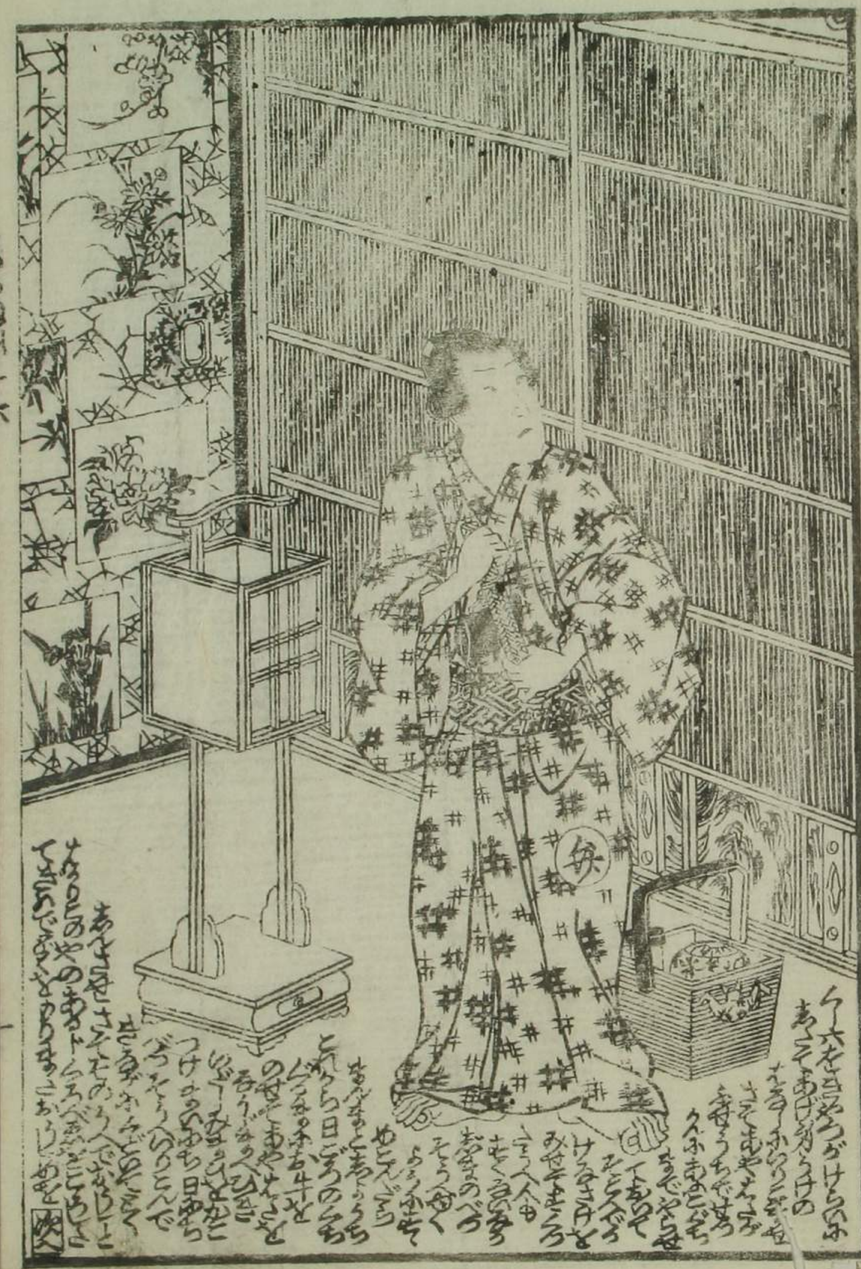
大友宗麟の息女
若菜姫
豊国画

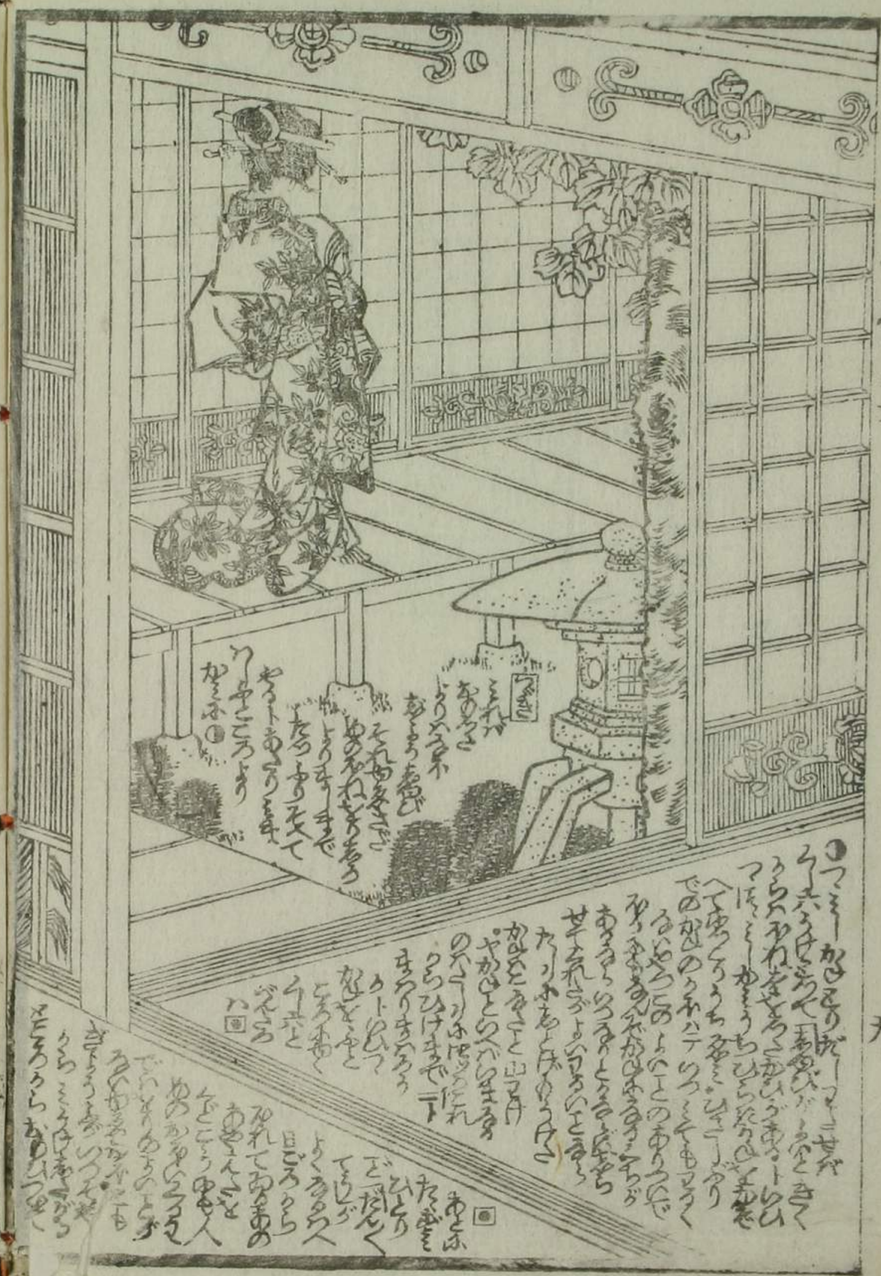
四神之内左青龍ふ擬
菊地家四大勇士の個
龍川小文治 秀勝

四神之内前朱雀ふ擬
菊地家四大勇士の個
鳥山秋作 輝忠
曲亭馬琴

牛







たゝぬひ譚 九編四編ヨリ柳亭種彦作 六十編ニテ一恵齋芳幾画

兩面織花田物語 初編ヨリ同 五編迄則同 作画

假名淫八犬伝 三十編ヲ假名垣魯文録 三十五編マテ朝霞楼芳秀画

古今俳優似顔大全 故豊國公羽筆 大錦 白三番續

太平記英勇傳 中錦 山々亭・有人記 百番續 恵齋芳幾画

七孔

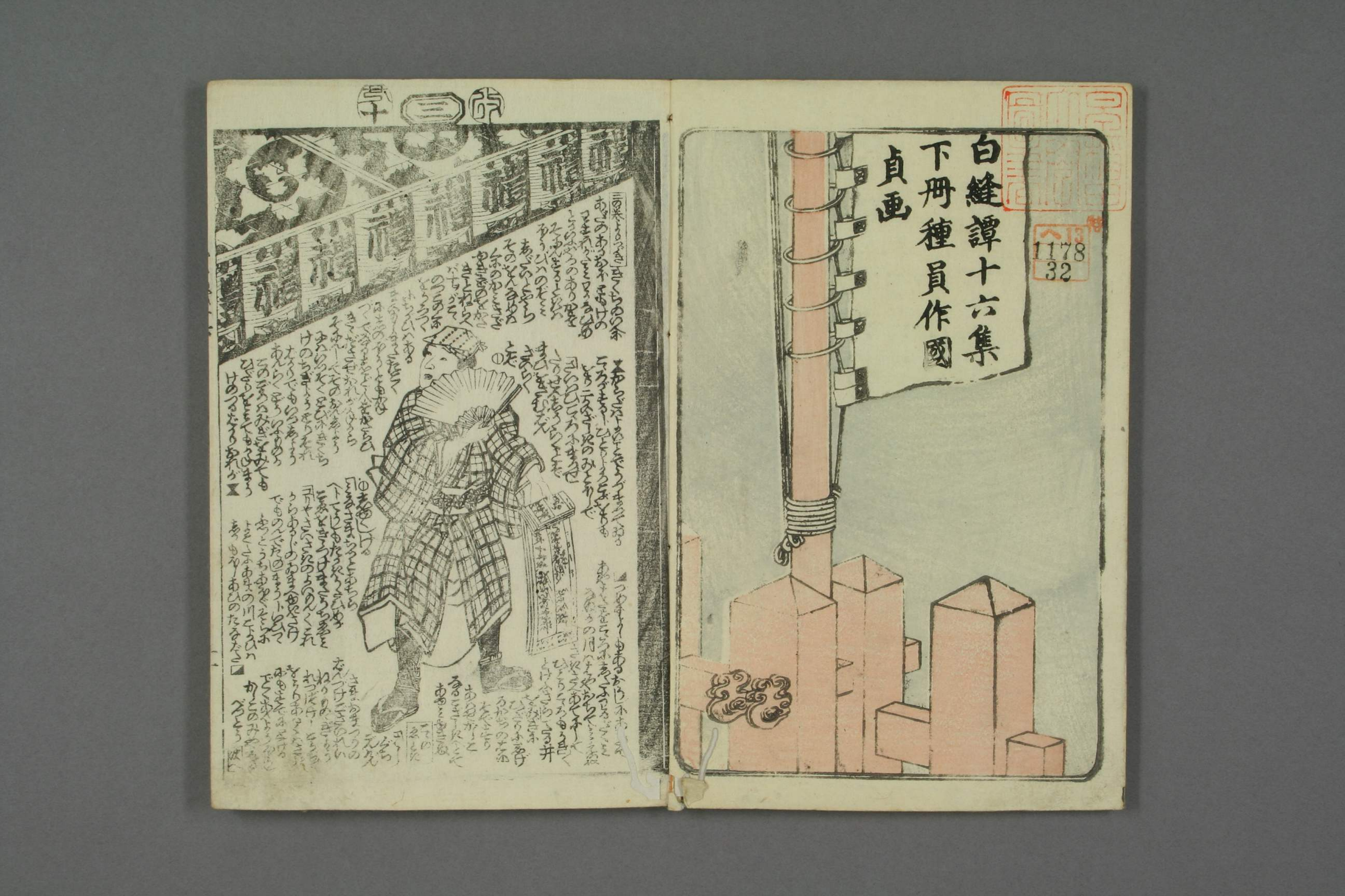
楊

種員像

國貞画

十六編下

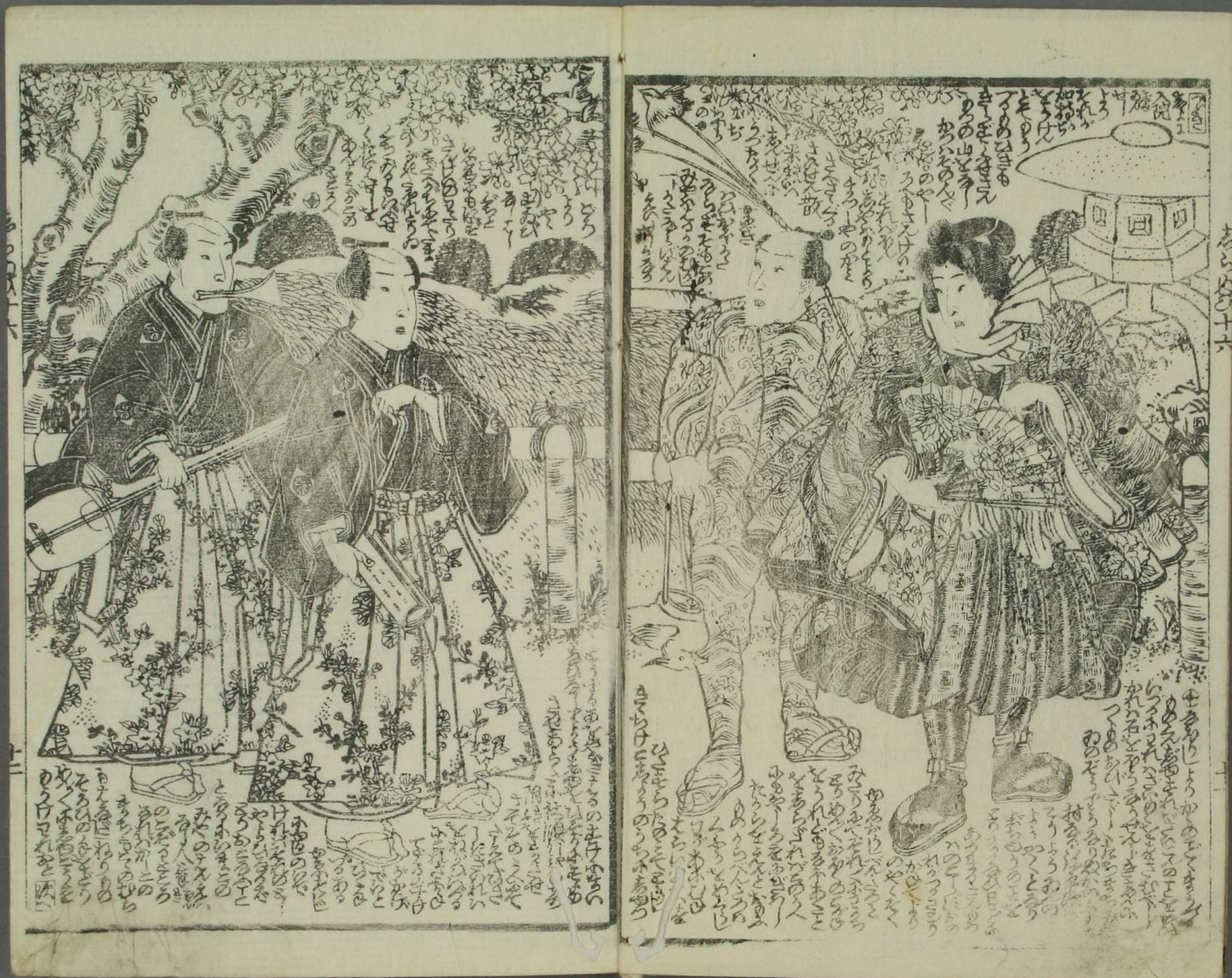
へ 13
1178
32



白縫譚十六集

下冊 種員作 國貞画

1178
32



安

弁

朝霞楼芳幾画

名御書の二我駒八
柿木金輔

浪華黄金鯱

三編讀切

瀬川如皐
山々亭有人
恵齋芳幾
梅素玄魚
松湖交来
假名垣魯文
可竹其水

合作

一對男縁の因て戯作劇場の一様の竹林ちくりん軒人の回ちくりの
合作全備の三編冊 初編 其水作同 有人作同 芳幾作
同十二冊 如皐作 二編 魯文作同 其水作同 有人作
三編 如皐作同 魯文作同 其水如斯の持場なれ
定め一豆の筆力にたゝし浮當藏板のちらぬ同様御高評を希ふ

江戸傳川伝賀所
廣岡屋事助梓

地本草紙問屋